

クスサンの羽化

有峰森林文化村

令和4年9月20・21日、有峰の穴洞谷を調査中に道端のヨモギの葉の上や猪根平の有峰森林文化村の宿舎において羽化直後のクスサン♀個体を発見しました。♀個体も♂個体同様、下記の写真のように個体変異がみられます。

【分類】 ヤママユガ科 ヤママユガ亜科

【学名】 *Saturnia japonica*

【和名】 クスサン

【形態】 開帳：♂120mm内外、♀125mm内外、触角 ♂は羽毛状、♀は両櫛歯状
♂♀とも色彩の変異は著しく、ことに♂は褐色、灰黄褐色、橙黄褐色、淡黄褐色など色彩様々、幼虫、地方によって「シラガタロウ」、蛹は、非常にかたくて粗い網目状、「スカシダワラ」と呼ばれている

【分布】 北海道、本州、四国、九州、対馬、屋久島、奄美大島、沖縄島

【生態】 年1化、有峰では9月中旬から10月上旬に出現、卵で越冬

【食餌植物】 多食性、ブナ、ミズナラ（ブナ科）、ヤマウルシ（ウルシ科）、ウワミズザクラ（バラ科）、アカメガシワ（トウダイグサ科）、サワグルミ、オニグルミ（クルミ科）など

【参考文献】

- 1) 岸田泰則編；日本産蛾類標準図鑑Ⅰ/学研
- 2) 岸田泰則他著；日本のヤマユガ/有限会社むし社



クスサン♀個体 穴洞谷にて9月21日撮影



クスサン♀個体 猪根平にて9月20日撮影